

浦幌川柳会

課題吟「自由吟」
 ヨサコイの元氣わたしも欲しくなり
 挫折したブランコの角度ひとつ変え
 老いの身を忘れてしまう酒の味
 万引きに目をそらして自虐症
 気落ちした湯のみに茶柱五六本
 赤錆びた背にもまだある残照の灯
 口おしい意地を張っても酔えぬ酒
 友が来て夫の笑顔に時忘れ

橋本 葉子
 阿部 麗紅
 佐藤 長崇
 山村 幹雄
 白木 二十重
 竹村 鮮明
 星 愛子
 加藤 未貴

浦幌短歌会

中古品ユニボー持って三十年
 工夫と馴れでしらず動く
 若草やタンポポの黄のまぶしかり
 生きて今年の花ばなあおぐ
 祝ひごとめぐりにはなく冬終る
 人の名前につまづきながら
 老いてゆく兆し語りあい有のまま
 受けとめようと話しあうなり
 二重活け木瓜を活け終へ池坊展
 花ばなの香にみなぎりて佇つ
 さらさらと畑の傾斜地雪水に
 道をつけると棒を持ちて立つ
 生きること愛することにひたすらな
 あなたの腕よ美しくあれ
 その土地の身ぶり手ぶりを混じえての
 その場が見せるテレビ番組
 どの花も亡き人つれて遇いにくる
 花の季節は喪にあるように

米司 好美
 山崎 阿己
 山口 恵子
 星 愛子
 福澤 米子
 後藤 年子
 藤井 桃子
 長谷川アキ
 亀田みや子

ことぶき俳句会

短夜の飲み残したる白ワイン
 初夏の風息吐いて吸う日暮かな
 更衣まだまだ厚着しておりぬ
 リハビリへ冬衣をはおる立夏かな
 青麦の畑に立てる鶴の二羽
 向日葵の絵を描くゴッホが近く居て
 葉桜や母似の手付きで菜を洗う
 辛夷咲く見ているだけの胸うつろ
 おだまきのむらさき姥となつてゆく

大山さよ子
 越坂 順子
 徳地はつ子
 橋本 葉子
 羽柴 秋子
 福澤 米子
 福原 仁子
 宮部あき子
 高橋 悦子

上浦幌句の会

時経ても匂う甘辛亡母の味
 火を背なにアイスキャンデーもおつな味
 山菜の味と香を供に春
 愛妻においしいうまい機嫌とり
 カレーとは多彩な食材なじむ味
 愚痴たまり癒しの酒も味気なく
 嗜むほどに味満たされる伸しするめ
 日々の味出せずに生きて時間が過ぎ
 送られし産地の味で友と逢い
 何しても感にお任せかくし味

経堂 ハナ
 河村みよ子
 山田 ナツ
 大西 功
 山田エツ子
 福田すま子
 芳川 乙美
 広瀬マサヨ
 朝日ヒロエ
 笹島力ヨ子

みんなの文芸

編集後記

表紙の写真は、上中央小の運動会です。5月下旬から3週にわたり、各校の運動会が行われました。残念ながら、天気はイマイチでしたが、子どもたちは、グラウンドを元気に駆け回り楽しんでいました。子どもはかなりの前から、踊ってから玉入れするんだよ、と走って、番だつたよ」と練習したことを楽しそうに話してくれました。どんな運動会になるんだろうと楽しみな反面、準備は大変でした。服・靴・お弁当の用意等々。自分が出たわけではありませんが、合併の話で少し。旧特例法に基づいて全国の市町村数は、3千232から1千822へ44%の減少。このうち北海道は、212から180へ15%の減少となる予定。北海道が規模拡大による効果論に組するなら、日本の中における北海道の存在そのものが非効率なものとして切り捨てられる」と発言している首長もいます。今後こそが、自治体のあり方を決める山場となるのではないのでしょうか。(やす)

掲載された写真は、差し上げますので(本人または家族)お気軽にご連絡下さい。